

物語文にみるみる強くなる語彙 600 No121.~No.150

No.121 『ひっきりなし』 ⇒絶え間なく続く様子。

[例文] 新しくオープンしたあのお店はひっきりなしにお客さんが訪れている。

No.122 『ぎこちない』 ⇒不慣れであったり緊張・遠慮をしたりして、物事がうまく行えない様子。

[例文] 昨日、喧嘩してしまい今朝はお互いぎこちなく笑い合う感じだった。

No.123 『思い詰 (つ) める』 ⇒そのことだけを深く思い込んで苦しむ。

[例文] いつも明るい彼女が思いつめた表情を浮かべていた。

No.124 『言い淀 (よど) む』 ⇒言おうとしてためらう。ことばが出てこなくてつかえる。

[例文] 彼は友達を気遣って言い淀んでいる。

No.125 『おぼしい』 ⇒～と思われる。

[例文] 彼のおじいさんとおぼしき人が出迎えてくれた。

No.126 『該当 (がいとう)』 ⇒一定の条件、資格などに当てはまること。

[例文] 今年の書道コンクールの金賞は該当者なしとなった。

No.127 『拍子抜け (ひょうしぬけ)』 ⇒緊張が急にゆるんでがっかりすること。張り合いがなくなるこ
と。

[例文] 思いの外、あっさりと引き受けてくれて拍子抜けした。

No.128 『疎か (おろそか)』 ⇒物事をいいかげんにしてすませること。なおざり。

[例文] 連休中も勉強が疎かにならないように気をつけよう。

No.129 『皆目 (かいもく)』 ⇒まったく。

[例文] 彼がなぜ怒ったのか僕には皆目見当がつかない。

No.130 『片時 (かたとき)』 ⇒わずかの間。

[例文] 彼はお守りを片時も離さず身に着けている。

No.131 『鼻白む (はなじろむ)』 ⇒機嫌を損ねたり、興ざめする様子。しらける。

[例文] あまりに自分勝手な彼の態度にみんなが鼻白んでいる。

No.132 『尻込む』 ⇒しりごみをする。ためらう。

[例文] まわりがみんな自信満々に見えて尻込みしてしまった。

No.133 『侃々諤々 (かんかんがくがく)』 ⇒互いに正しいと思うことを堂々と主張し、大いに議論する
こと。

[例文] 彼の一言がきっかけで侃々諤々の意見がかわされた。

No.134 『怪訝 (げげん)』 ⇒理由や事情がわからなくて、不思議に思うこと。

[例文] いつになく熱心に教室の掃除をしていたら、クラスの仲間たちから怪訝な顔で見られてしまっ
た。

No.135 『根負け (こんまけ)』 ⇒相手の根気強さに負けること。

[例文] 先輩の熱心な誘いに根負けして入部を決めた。

No.136 『しつらえる』 ⇒作り設ける。整える。また、飾りつける。

[例文] 部屋にしつらえられた家具は、彼女のイメージにぴったりだった。

No.137 『連想 (れんそう)』 ⇒ある事柄から、それと関連のあるほかの事柄を思い浮かべること。

[例文] おはぎは田舎のおばあちゃんのことを連想させる。

No.138 『せき立てる』 ⇒物事を早くするように強く促す。急がせる。

[例文] まるで、せきたてられるように走り出した。

No.139 『変遷 (へんせん)』 ⇒時代とともに移り変わる事。

[例文] 学校に飾られている航空写真を見ると時代の変遷を感じる。

No.140 『存外 (ぞんがい)』 ⇒物事の程度や様子が予想と異なる事。思いのほか。

[例文] 存外な難しさに面食らった。

No.141 『不穩 (ふおん)』 ⇒状況・情勢などがおだやかではない事。危機や危険をはらんでいる事。

[例文] 私の不用意な一言で、教室は不穩な空気に包まれた。

No.142 『陳腐 (ちんぷ)』 ⇒古くさい事。ありふれていて、つまらない事。

[例文] そんな陳腐な言い訳は通用しない。

No.143 『いかんなく』 ⇒心残りなく。十分に。

[例文] 毎日作ってくれるお弁当のおかげで、テストでいかんなく実力を発揮することができた。

No.144 『そらんずる』 ⇒そらで覚える。書いたものを見ないですむようにすっかり覚える。

[例文] 毎日聞いていたら、歌詞をそらんじて歌えるようになった。

No.145 『華奢 (きゃしゃ)』 ⇒ほっそりとして品がよい様子。また、繊細で弱々しい様子。

[例文] 華奢なわりに大きな声に驚いた。

No.146 『力量 (りきりょう)』 ⇒物事を成し遂げる能力の程度。

[例文] リーダーとしての僕の力量が試されている。

No.147 『踏襲 (とうしゅう)』 ⇒それまでのしきたりややり方を変えずに、そのまま受け継ぐ事。

[例文] 僕の学校では、伝統を踏襲してふんどし一丁で遠泳を行う。

No.148 『喧噪 (けんそう)』 ⇒物事・人声などがやかましい事。

[例文] 毎年夏祭りが来ると、多くの人々の喧騒で埋め尽くされる。

No.149 『どことなく』 ⇒どことはっきり示せないが。何となく。

[例文] 顔がどことなく似ている気がする。

No.150 『駆け出し (かけだし)』 ⇒その仕事を始めたばかりでまだ慣れていない事。また、その人。

[例文] 駆け出しの頃はつらい修業に耐える毎日だったそうだ。